

第1回児童労働分科会会合

児童労働分科会に関する提案

設立発起人

JICA/ACE

2022年2月4日

第1回分科会のねらい

1. 参加メンバーが同じ方向を向いてやる気を出す
2. 参加を検討している人たちが、参加することに価値を見出し、参加を決意する
3. 参加メンバー同士が、およその方向性や今後の分科会の進み方、実施内容について概要をつかむ

内容

I. 提案にあたって 欧州児童労働合同ワーキンググループの動き

II. 分科会設置趣意

—提案—

1. 児童労働に関する目標設定（案）
2. 活動案
3. 今後の進め方（全体） / （有志&事務局）
4. 分科会の運営体制
5. 分科会参加におけるグラウンドルール

1. 提案にあたって

➤ 欧州児童労働合同ワーキンググループの動き：

カカオ産業における児童労働の分科会のワーキンググループ)として、プラットフォーム間での連携と活動の標準化をけん引する動きであることから、2021年11月に発表されたTerms of Reference (活動の範囲)を参考にし日本の分科会の活動に関する提案を作成

欧州児童労働合同ワーキンググループToR

原文→

https://www.kakaoforum.de/fileadmin/Redaktion/Downloads/Interne_geschuetzte_Downloads/ToR_ISCO_WG_Child_Labour.pdf

日本語仮訳→ 別途 ワード資料ご参照

II. 分科会設置趣意

(2021年12月27日設置)

➤ **趣意書目的**：児童労働のないカカオのサプライチェーンをコレクティブ・インパクトによって実現する。それにより、カカオ生産地の子どもや若者の権利と健全な成長を保障し、カカオ生産地域の持続可能な発展を支援する。

➤ **主な活動内容（案）**：

- ① 児童労働撤廃に向けた分科会としての目標設定／プラットフォームとしての目標の提案
- ② 児童労働フリーのサプライチェーンを担保する仕組みの構築（ガーナでの児童労働フリーゾーンモデルの確立や、カカオ生産国政府、自治体との連携や支援を含む）
- ③ 企業による児童労働への取り組みガイドライン、共通指標の作成の促進
- ④ 成功事例を学ぶための現地視察（状況が可能になった場合）
- ⑤ 定例会議（年4回程度）を通じた議論と共同学習

※初期段階より、カカオ生産国政府や欧州プラットフォームとの連携を視野に入れて活動していきたいと考えている。

1.児童労働に関する目標設定（案）

2025年までに、あらゆる形態の児童労働の撤廃に寄与できる効果的な対策と必要な措置がとられている

- ・力カオの取引に関与している組織は、対応策と実施計画を策定する
- ・その他の組織は、組織の強みを活かし連携の促進に貢献する

2. 活動案

①学習と共通理解の醸成

課題や解決策について学ぶ、最新情報の共有

- ✓ 共通ガイドラインや指標の作成

→自社の活動への反映を目指す

②実践と知見の共有

取組み状況の報告を通して、学びあう

③インパクトを高めるための連携の促進

システムチェンジを起こすための仕組みの構築

- ✓ ブロックチェーンを使ったサプライチェーン透明化システム
- ✓ CLFZの普及拡大支援
- ✓ 連携を実現するための環境整備（Co-financeの仕組みなど）

3. 今後の進め方（全体）

➤ **開催日程**：年4回程度（2022年は2月、5月、8月、11月？）

➤ **実施事項**：

①テーマを絞った学習

②具体的な活動について議論（案）

5月 児童労働に関する目標とロードマップについて

8月 インパクトを高めるための連携について（1）

11月 インパクトを高めるための連携について（2）

➤ **分科会参加に要する時間（目安）**：

－ 会議参加 2時間程度/回 × 年4回

－ 資料や情報確認の時間（適宜）

3. 今後の進め方 (有志 & 事務局)

有志

- **目標とロードマップ**：タスクフォースで集中的に議論してたたき台を作成, 5月の分科会で提案

→ **タスクフォースへの参加** (3月中旬～5月, 2-3回)

参加希望者の確認

事務局

- **欧州合同分科会との連携**：3月の分科会にオブザーブ参加。連携可能性を模索。随時分科会で情報共有。
- **カカオ生産国との連携**：特にガーナのCLFZの推進において、早い段階から政府関係機関（COCOBOD含む）との連携模索。

4. 分科会の運営体制

- **分科会事務局**：JICA, ACE, Deloitteが運営チームとして立候補。他に事業会社からの参加を期待
 - ・ 分科会の運営、メンバーの管理、連絡調整
 - ・ プラットフォーム全体への報告、情報共有、提案
 - ・ 外部（カカオ生産国政府や欧州プラットフォーム等）との連携、調整
- **タスクフォースの設置**：必要に応じて作業の迅速化を図るために有志で活動
 - ・ 個別テーマに関する協議と分科会への提案
- **参加形態**：
 - ・ オブザーバー：正式参加検討のための参加を歓迎
 - ・ 個人：分科会への参加意図、貢献方法を確認したい

5. 分科会参加におけるグラウンドルール

1. **目的への合意**：公益の達成、追究を目的とする
2. **学びへの参加、貢献**：活動の一部である学習活動に参加し、互いの学びの促進、学びのための情報共有に貢献する
3. **異なる立場の尊重**：異なる立場や役割を尊重し、互いの違いやその背景について理解するよう努める
4. **コレクティブインパクト**：共通のビジョンの達成に向けて、互いの強みや役割に基づいて、具体的に行動することを約束する
5. **コンプライアンス**：公正な競争、安心安全な協働環境の促進のために、会員情報の保護を約束する

ディスカッションで確認いただきたい項目

1. **児童労働に関する目標設定** (スライド6)
2. **活動案** (スライド7)
3. **今後の進め方と運営体制** (スライド8, 9, 10)
4. **その他ご意見など**

たたき台に対して、「賛同する/しない」、「提案事項」、「タスクフォース参加希望」、「持ち帰り検討したい」等がわかると今後進めやすいです。

MIROの操作方法

チャット欄に送られてくるURLから、IDとパスワードを入力して、作業ボードに直接ログインします。
基本的な操作4つの説明はしたの図をご参照ください。

画面全体を移動したい
▶タッチパネルで移動
もしくは、画面左のツール
バー「矢印」を一度クリッ
クし、ホワイトボード部分
をドラッグ



児童労働分科会の目標

例：タスクフォ
ースで決めて、
分科会に提案す
るでよいと思う

テキスト入力
▶書き込みたい付
箋の上でダブルク
リック

今後の進め方と運営体制

付箋を移動
▶付箋をドラッグ



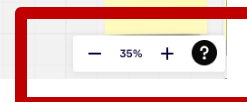
テキスト入力
→付箋の上でダブ
ルクリック

表示画面の大き
さを変えたい場合
→画面右下の+の
マークをクリック
して調整

新しい付箋が欲しい
→ショートカッ
トキーでコピー&ペ
ースト

活動案

表示画面の大きさの変更
▶タッチパネルで拡大・縮
小、もしくは、画面右下の
+マークをクリック



Link objects
Use arrows and lines to connect items on the board,
or just drag a connection line from one item's edge to another.

参考資料（前回までの共有事項等）

<参考>

コレクティブ・インパクト

一つの組織では解決が難しい複雑化した社会課題解決のために、行政、企業、NGOなどが協働し取り組むアプローチ

定義：「異なるセクター～集まった重要なプレーヤーたちのグループが、特定の社会課題の解決のため、共通のアジェンダに対して行うコミットメント」

（一論文“Collective Impact”（社会変化の共創）、2011年スタンフォード大学専門誌で発表）



それぞれのくくりを超え、集合的（Collective）なインパクトの最大化をめざす

複雑化した社会課題解決に向けたアプローチ

<参考>

世界のサステナブルカカオのためのプラットフォームの動向

国	設立
ドイツ	2012年6月
スイス	2018年1月
ベルギー	2018年12月
オランダ	2020年9月
フランス	2021年10月

- 課題解決の効率化と効果を上げるために、ドイツ、スイス、ベルギー、オランダのプラットフォームが**連携のためのMOU**を締結（2021年1月署名）

主要課題である以下の領域において具体的に共同して取り組むことに合意

- カカオのバリューチェーンにおける**透明性を高め、持続可能なカカオの生産と消費を促進**すること
- カカオ農家とその家族の**生活所得（Living Income）**に貢献すること
- カカオ生産国におけるカカオに関連する**森林破壊を食い止め、持続可能な森林再生と生物多様性を促進**すること
- カカオのバリューチェーンにおいて、最悪の形態の**児童労働・強制労働をなくす**こと。

5つの分野で連携していくための2022年の アジェンダ発表

生活所得 (Living Income)

森林保全

児童労働

トレーサビリティと透明性

モニタリングと評価

個別

全体



共通課題に対して各国のプラットフォームが連携

分科会

3回/年

作業部会

勉強会

